

特別栽培農産物栽培管理実績

確認機関名	塩谷アグリテック
計画提出日	令和2年6月10日
登録番号	08001001001-036

生産者名	杉山修一	品 種 名	コシヒカリ・夢ごち・いのちの壺・ 縁結び・新生夢ごち・たきたて
住 所	栃木県塩谷郡塩谷町肘内742	ほ 場	様式6-1-水稲早期参照
電 話	0287-46-0741	栽培面積	115188㎡
作目・作型	水稲 ；早期栽培	収穫期間	9月10日～11月20日

(実 績) コシヒカリ・夢ごち・縁結び・たきたて

○作業内容

(単位：農薬kg/10a又はリットル/10a、肥料kg/10a)

作 業 名	年月日	資 材 名	施用量	成分回数・ 窒素施用量	備 考
耕起	19.10				ロータリー耕
カバークロープ播種	19.10～		10kg		ロータリー播種機
レーザーレベラー	20.3.～				レーザー整地
有機質散布	19.3月上旬 ～30.4月	屑大豆	25kg		ブロードキャスター
種子消毒	20.3月上旬	温水			温湯消毒
播種	20.4月上旬	水稲覆土専用培土(無肥料) 発酵鶏糞 粉碎籾殻	4リットル 0.1kg 4.25リットル		10アール20枚換算
発芽	播種後 5～7日				育苗ハウス内に積み 上げ簡易発芽を行う
育苗	発芽確認 後～田植 終了	水を保つためのシート等 地下水			
耕起作業第3回目	20.3上～ 4月				ロータリー耕
水管理作業	20.4上 旬～落水 まで				軽トラック、 1.5トン、 2トン車等
代掻き作業	20.4上旬 ～5月中 旬				代かきハロー
田植え	20.4下旬 ～5	新NS ルーチン粒剤 アークエース1和粒剤	14kg 1kg 1kg	1回 2回	田植え機 薬剤及び肥料同時 散布 植え付け坪あたり 株数50～60株植え
除草剤散布	田植え後 7～10日	銀河ンジャンボ	0.4kg	3回	
除草剤散布	20.6～7 月	バサグラン液剤	0.5リットル	1回	ブームスプレーヤ で散布
収穫、乾燥	20.9中～ 10上				自脱コンバインに よる収穫及び遠赤 乾燥機による乾燥
調整作業	出荷に合 わせ順次				粗撰、籾すり、網 目選、石抜き、色

	調整				彩選、水分選、袋詰、特裁格付け、農産物検査以降出荷
--	----	--	--	--	---------------------------

実績いのちの老種子用栽培

○作業内容 (単位：農薬kg/10a又はリットル/10a、肥料kg/10a)

作業名	年月日	資材名	施用量	成分回数・窒素施用量	備考
耕起	19.10				ロータリー耕
レーザーレベラー	20.3.～				レーザー整地
種子消毒	20.3月上旬	温水			温湯消毒
播種	20.4月上旬	水稻覆土専用培土(無肥料) 発酵鶏糞 粉碎粃殻	4リットル 0.1kg 4.25リットル		10畝20枚換算
発芽	播種後 5～7日				育苗ハウス内に積み上げ簡易発芽を行う
育苗	発芽確認後～田植終了	水を保つためのシート等 地下水			
耕起作業第3回目	20.3上～4月				ロータリー耕
水管理作業	20.4月上旬～落水まで				軽トラック、1.5トン、2トン車等
代掻き作業	20.4月上旬～5月中旬				代かきハロー
田植え	20.4下旬～5	新NS ルーチン粒剤 アークエース1kg粒剤	14kg 1kg 1kg	1回 2回	田植え機 薬剤及び肥料同時散布 植え付け坪あたり株数50～60株植え
除草剤散布	田植え後7～10日	銀河ンジャンボ	0.4kg	3回	
除草剤散布	20.6月25日	バサグラン液剤	0.5リットル	1回	ブームスプレーヤで散布
薬剤散布	7月25日	ドイツボルドーA 稲麴病	0.05kg	別表の2記載のためカウントなし	ブームスプレーヤで散布
収穫、乾燥	20.9中～10上				自脱コンバインによる収穫及び遠赤乾燥機による乾燥
調整作業	出荷に合わせ順次調整				粗撰、粃すり、網目選、石抜き、色彩選、水分選、袋詰、特裁格付け、農産物検査以降出荷

実績いのちの壱

○作業内容 (単位：農薬kg/10a又はリットル/10a、肥料kg/10a)

作業名	年月日	資材名	施用量	成分回数・窒素施用量	備考
耕起	19.10				ロータリー耕
レーザーレベラー	20.3.～				レーザー整地
種子消毒	20.3月上旬	温水			温湯消毒
播種	20.4月上旬	水稻覆土専用培土(無肥料) 発酵鶏糞 粉碎籾殻	4リットル 0.1kg 4.25リットル		10 ² 20枚換算
発芽	播種後 5～7日				育苗ハウス内に積み上げ簡易発芽を行う
育苗	発芽確認後～田植終了	水を保つためのシート等 地下水			
耕起作業第3回目	20.3上～ 4月				ロータリー耕
水管理作業	20.4上 旬～落水 まで				軽トラック、 1.5トン、 2トン車等
代掻き作業	20.4月上旬 ～5月中 旬				代かきハロー
田植え	20.4.25	新NS ルーチン粒剤 アークエース1ヶ粒剤	14kg 1kg 1kg	1回 2回	田植え機 薬剤及び肥料同時 散布 植え付け坪あたり 株数50～60株植え
除草剤散布	田植え後 7～10日	銀河ンジャンボ	0.4kg	3回	
除草剤散布	20.6～7 月	バサグラン液剤	0.5 ^{リットル}	1回	ブームスプレーヤ で散布
収穫、乾燥	20.9中～ 10上				自脱コンバインに よる収穫及び遠赤 乾燥機による乾燥
調整作業	出荷に合 わせ順次 調整				粗撰、籾すり、網 目選、石抜き、色 彩選、水分選、袋 詰、特裁格付け、 農産物検査以降出 荷

実績・新生夢ごち

○作業内容

(単位：農薬kg/10a又はリットル/10a、肥料kg/10a)

作業名	年月日	資材名	施用量	成分回数・窒素施用量	備考
耕起	19.10				ロータリー耕
カバークローブ播種	19.10～		10kg		ロータリー播種機
レーザーレベラー	20.3.～				レーザー整地
有機質散布	20.3月20日	発酵鶏糞	600kg		ブロードキャスター
種子消毒	20.3月上旬	温水			温湯消毒
播種	20.3.25	水稻覆土専用培土(無肥料) 発酵鶏糞 粉碎籾殻	4リットル 0.1kg 4.25リットル		10 ² 20枚換算
発芽	播種後 5～7日				育苗ハウス内に積み上げ簡易発芽を行う
育苗	発芽確認後～田植終了	水を保つためのシート等 地下水			
耕起作業第3回目	20.3上～4月				ロータリー耕
水管理作業	20.4月上旬～落水まで				軽トラック、1.5トン、2トン車等
代掻き作業	20.4月上旬～5月中旬				代かきハロー
田植え	20.4下旬～5	新NS ルーチン粒剤 アークエース1kg粒剤	14kg 1kg 1kg	1回 2回	田植え機 薬剤及び肥料同時散布 植え付け坪あたり株数50～60株植え
除草剤散布	田植え後7～10日	銀河ンジャンボ	0.4kg	3回	
除草剤散布	20.6～7月	バサグラン液剤	0.5 ^{リットル}	1回	ブームスプレーヤで散布
収穫、乾燥	20.9中～10上				自脱コンバインによる収穫及び遠赤乾燥機による乾燥
調整作業	出荷に合わせ順次調整				粗撰、籾すり、網目選、石抜き、色彩選、水分選、袋詰、特裁格付け、農産物検査以降出荷

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値(慣行)	節減割合
7	16	5割

窒素施用量(kg/10a)		
窒素量	基準値(慣行)	節減割合
3.78	8	5割

○使用資材の成分内訳等

農薬名	成分名
ルーチン箱粒剤	イソチアニル 3%
アークエース1キロ粒剤	ブタクロール 7.5% ACN 9.0%
銀河ジャンボ	タイムロン25.0% ピラクロニル5.0% メタゾフルフロン2.5%
バサグラン液剤	ベンタゾンナトリウム塩40%

肥料の名称 ※	窒素成分割合 (%)
新NS27	27%

※ 窒素成分を含む化学肥料のみ記入

培土の名称 ※	培土使用量(10a当たり換算)	窒素成分割合 (%)
無肥料培土	80リットル	0

※ 窒素成分を含む化学肥料を混合している培土のみ記入

○栽培記録の確認

栽培管理記録の確認欄 (署名・印)	これまでの農薬成分回数及び化学肥料施用量 (kg/10a)		備考
	農薬成分回数	窒素	
20年9月1日 小野崎勇治 	7回	3.78	
年 月 日 印	回		
年 月 日 印	回		

○特記事項

--